



【借換シミュレーション】●計算例は元利均等毎月返済方式で計算しています。【共通】●計算例は、計算上のシミュレーションであり、特定の商品と比較するものではなく、実際の金利、預入額、返済額とは相違します。●シミュレーションは金利が変動しないことを前提に計算しています。●店頭で説明書をご用意しています。●店頭やホームページでご返済額の試算ができます。●詳しくは〈中央ろうきん〉営業店までお問い合わせください。

本情報誌の掲載内容は、2026年9月1日現在。

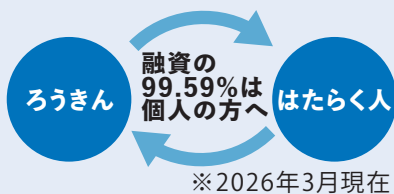
「ろうきん」の誕生には労働組合・生協が深く関わっています

営利を目的としない金融機関〈ろうきん〉

〈ろうきん〉は労働組合や生協などの働く仲間がお互いを助け合うために資金を出し合ってつくった、協同組織の金融機関です。生まれた利益を便利な商品やサービスとして利用者に還元しています。

働く人から働く人へ〈意思のあるお金〉の循環

お預かりした資金は、大切な共有財産として、住宅・教育・マイカーなど働く仲間とその家族のくらしを守り、より豊かにするために役立てられています。



〈中央ろうきん〉設立

25th Anniversary

中央ろうきん

25周年キャンペーン 実施中!

ご好評につき 期間延長!

詳しくはWebで!

家計見直し 借換 キャンペーン 実施中!

詳しくは Webで!

中央ろうきん生協会員専用フリーダイヤル

〈ろうきん〉に コール

0120-692-506

平日9時~18時(土日祝日・休)

ローンのお申込みはホームページから

24時間受付中!

金利のある時代 わが家のお金、見直してみませんか?



なぜ、金利が上がるの？

日本銀行は、物価や景気の状態を見ながら、政策金利を調整しています。*1

金利が上がる主な背景



物価上昇（インフレ）

物価上昇を安定させるため、金利調整が行われます。*2



海外の金利動向

海外金利の上昇は、円安や輸入価格を通じて日本の金利にも影響します。*3



日本銀行の政策

物価上昇率2%の安定を目指し、金利を調整します。*4

※出典：日本銀行「金融政策の概要」(*1)、「2%の『物価安定の目標』」(*2)、内閣府「令和6年度 年次経済財政報告」(*3)、日本銀行「経済・物価情勢の展望(2026年7月)」(*4)



金利って、物価や景気、海外の動きともつながっているんだね！

金利のある時代。

わが家への影響は？

ニュースでよく聞く「利上げ」。
預金やローンなど、家計への影響を知り、今できる備えを考えましょう。



もらうお金
(預金の利息)
増える！

金利が上がるとうなるの？

金利の上昇は、
「もらうお金」と「支払うお金」の
両方に影響します



支払うお金
(ローンの利息)
増える！

約30年間の金利水準の推移

日本では長く低金利が続いてきましたが、近年は金利が動き始めています。預金やローンへの影響を知り、今の家計に合った貯め方・借り方を見直すことが大切です。



※日本銀行「時系列統計データサイト」1995年1月～2026年7月(各月末時点)

金利を知ることが、
家計を考える第一歩なんだね！



預金の利息シミュレーション

100万円を1年間預けた場合(税引前)

金利(年率)	利息(年間)
0.01%	約100円
0.10%	約1,000円
0.50%	約5,000円
1.00%	約10,000円



もらうお金はどう変わる？

毎月3万円を積み立てた場合の元利金(税引前)

金利(年率)	5年後	10年後	20年後
0.01%	約180万円	約360万円	約720万円
0.50%	約182万円	約369万円	約757万円
1.00%	約184万円	約378万円	約796万円

20年後の積立額の差は約76万円に！

※実際の適用金利や税金は反映しておりません。



知っ得ポイント1 コツコツ積み立てて、金利と時間を味方につけよう！

支払うお金はどう変わる？

住宅ローンの返済シミュレーション

条件：借入額3,000万円／返済期間30年／元利均等返済／ボーナス返済なし

金利0.5%の場合
毎月返済額 約89,000円
総返済額 約3,231万円

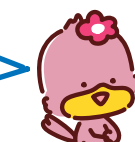
金利1.0%に上昇した場合
毎月返済額 約96,000円
総返済額 約3,473万円

毎月の負担額
約7,000円増加！
総返済額
約242万円増加！

だから！
今こそ家計の見直しが必要なんです！



まずはシミュレーションで確認してみましょう！



詳細はこちらから▶



知っ得ポイント2 変動金利のルールを動画でチェックしてみよう！

YouTube



Instagram



金利のある時代だから考えたい

お金との付き合い方



お金の役割を見直して、
目的に合った方法で
上手に活用していきましょう。

預金(定期預金・積立預金など)

- 元本保証があり安心
- まとまったお金の備えに
- 金利上昇局面では利息も期待



NISA(つみたて投資枠・成長投資枠)

- 運用益が非課税になる制度
- 長期・積立・分散投資で資産形成を目指す



iDeCo(個人型確定拠出年金)

- 掛金が全額所得控除の対象
- 老後資金づくりに役立つ
- 長期運用で将来に備える

